

第7回 乳幼児の世界

八王子保育研究会 1991年

パパとママ どっちが育児

プロローグ

開催にあたって

昨今の育児情報過多の時代に、真の乳幼児保育・教育は何であろうか？と思考し真摯に学習し研鑽していこうと、昭和60年「八王子保育研究会」を発足し、6年が過ぎました。その歳月の流れの中で様々な活動を行い、多くのことを学びました。その間に、たくさんの方々から、暖かい励ましのお言葉やご指導をいただき感謝しております。今回、八王子保育研究会20回自主事業として、八王子駅ビル市民ホールにおいて第7回 乳幼児の世界 展... ・パパとママ、どっちが育児なし... をタイトルに保育展を開催することになりました。乳幼児の世界 展は、児童に対して関心と愛情のある皆さんと「乳幼児の世界」を理解し、把握し、「乳幼児の世界」をより良い方向に創造していく働きかけを見出ししていこうとする保育展です。いま全国各地で様々な形で「保育展」が開かれています。3年前に本会が提唱した『保育展サミット』は全国各地からの代表者が集い合い、保育展の意義や今後の持ち方などについて討論し、回を重ねるごとに、その輪が広がってきております。保育園の地域社会における活動について厚生省保育指導専門官朽尾勲氏は1991年版「保育年報」の中で「... 各地域においてさまざまな地域活動がすすめられている。その一例として地域内の保育所が協力して、保育に関する展示や相談などを行い、地域の人たちに対して子育てについての啓発を行う保育展などがあげられる。デパートや市民センターなど多くの人たちが集まる場所において、保育の実践的、具体的素材を通じて啓発、情報提供を行い、子育てへの知識、意欲を高めることは効果的な方法であるといえる。」と述べられている。この点において、正に私たちの今までの「乳幼児の世界展」活動が評価されたものと自負を持って受け止めたいと思います。今回のテーマは「パパとママ、どっちが育児なし」とし、子育ては家族みんなで行うことの大切さを、子供の誕生する前から時をおって、さまざまな角度から提案してみました。なお、今後の“八王子の保育展”のあるべき姿を展望し、過去6回にわたる 乳幼児の世界 展に対してご理解、ご賛同された多くの保育園の方々と共に勉強し、準備して今日の日を迎えました。変動する社会にあって『子供とは...』『保育とは...』を皆様とともに学んでいく一助となれば幸甚です。次代を担う子供たちの幸せと希望を求めて、『八王子保育研究会』はこれからも地道に歩んでいきたいと思ひます。

目 次

- 『乳幼児の世界』展 開催によせて... 八王子市長 波多野 重雄
出産までのパパとママ 初めての誕生日を迎えるまで 初めの一歩 1歳 2歳
一緒に遊ぼう、3歳から どこへ行けばいいのかパパとママ

